

教育活動と感染拡大防止の両立 その①

「ウイルスが見えナイ」「先が見通せナイ」「何が正解か見えナイ」の3ナイコロナ禍の中、学校が再開して間もない6月中旬のことです。いつものように正門近くで子どもたちとあいさつを交わしていましたが、どうしても気になるので、ある6年生児童に聞いてみました。校長：「今年は、コロナ禍で運動会もハッピーコンサートも修学旅行もなくなりそうだけど、6年生としてはどう思う？」6年：「う～ん、運動会やハッピーコンサートがなくなるのは密で仕方ないと思うけど、修学旅行がなくなるのはさすがにきついです。」



本校は「子どもが主役」の学校ですので、この言葉を受け旅行会社と相談をして、密を避けるため、旅館のひと部屋の人数を減らしたり、バスを増便したりして、なんとか1泊2日の旅行を計画しました。一方で修学旅行の受入先の感染対策や、旅行中発熱した児童がある場合の対応など、不安いっぱいの側面があったのも事実です。

そんな中、市教委は苦渋の決断と教育長が漏らした通り、東近江市内の全小中学校の泊を伴った修学旅行の中止を決定しました。9月がはじまってまもなく、また同じ児童に聞いてみました。

校長：「修学旅行が一日になってしまったけど、どう思う？」

6年：「校長先生、もう納得しています。1日だけでも行けて良かったです。ありがとうございます。」

明日、6年生が一生に一度の修学旅行に出発します。市の補助金やGOTOトラベル・地域クーポンを使って費用をできるだけ抑えながら、思い出に残る修学旅行になってほしいと願っています。どうか6年生保護者のみなさんも「いってらっしゃい」と笑顔で送り出してやってください。

教育活動と感染拡大防止の両立 その②

Q2：なぜ、運動会は中止したのに、マラソン大会は実施するのですか。（5年保護者より）

A：運動会やマラソン大会・ハッピーコンサートも体育や音楽ではなく「学校行事」という教育領域になります。学校は、各教科と同じぐらいこの学校行事を大切に育んできました。

本校は、運動会については6月初旬実施のため、今年度は物理的にも開催は不可能でしたが、PTA本部から6月初、コロナ禍が収束すれば「秋は、運動会とハッピーコンサートのどちらを実施するか、全保護者にアンケートを取ってほしい」との要望を受けました。アンケート自体は完成していたのですが、その矢先に感染拡大防止の観点から、市教委が「今年度は、市内すべての小学校の運動会・音楽会は中止する」と決定したため、アンケートは未実施となってしまったという経緯があります。



体育委員会（前川君）の放送

そこで、本校は、「運動会もどきの分散型体育的行事」か「マラソン大会」のふたつの体育的行事実施について協議しました。結果、運動会もどきの選択は、「体力向上」という行事のめあてからはあまりにも中途半端で、しかもかなりの練習時間を要するため、①なくした授業時数の確保、②コロナ禍で落ちた子どもの体力をつけるという実質的な教育的効果、③密集しない感染リスクの低さという3つの観点から、今年度は「マラソン大会」を実施することとしました。何かを得ると言うことは何かを失うということだと考え、両方の実施は断念しました。



「体育委員会が先導します！」

今週から、マラソン大会に向け、右の写真のように体育委員会が中心となって「走ってきたえよう」の業間マラソンがはじまりました。これから約1ヶ月間の取組です。

マラソン（持久走）は、しんどいです。でも、自分の立てためあてに向かってやり抜き、ひた走る子どもたちに是非保護者の皆さんの大声援を・・・と言いたところですが、今年は少し控えめな声援や拍手などでひと工夫凝らした応援をお願いいたします。

「走ってきたえよう」5年生の業間マラソンの様子→



いよいよ今年度も折り返し！我らキラリ輝く布引の子 ～校外学習編～

1年生は、「河辺生き物の森」



おととつ！気をつけてね。



この生き物はなんでしょう？

3年生は、「東近江たんけん」



ここは、どうでしょう？（ヒント：はつもうで）



おべんとうタイム「おかあさん、ありがとう！」

4年生は、「やまのこ」



「よいしょよいしょ！しっかりおさえてね」（丸太切り体験）



切った丸太で木工細工



5年生は、「フローティングスクール」



ドラでうみのこ出港



船内で男女なかよくピース！



名物うみのこカレーの味は、サイコーです



びわ湖の固有種「ビワクンショウモ」発見！



琵琶湖の「白石」は絶景です



沖島小学校からの応援はたふりには涙が出ました

公開学習週間に、のべ229名もお越しいただきました！

今年度は、感染拡大防止の観点から、保護者の方に一齐に子どもたちの様子を見に来ていただくことがむずかしいと判断し、このような自由参観の形を取りました。

指定の参観授業ではなかったのですが、保護者のみなさんにとっては、学校へ来にくいかもしれないと心配しましたが、予想に反して全保護者数を上回る参観があり、きっとご家族で、または複数回来っていただけで喜んでいました。「公開参観いろんな教科が見られて良かった。」という声もいただきました。また、感想やお気づきの点があれば、どうかご遠慮なくお知らせください。

なお、今後は、現在の感染警戒レベル1からレベル2に上がらないかぎり、感染防止に十分配慮しながら、10月20日の観劇(巡回講演)以降は、集会活動を含めたすべての教育活動の制限を解禁し、予定通り行います。

